

④ “幅広い協力体制”を築き、ボランティア活動の新たな可能性を引き出します。

「私たちのボランティア活動をいろんな機関から幅広く応援してほしいな」
「ほかの街のボランティアと一緒に活動したいな」
「もっと活動の輪を広げたいな」



※市外ボランティアとの視察交流会



4-1 関係機関と連携を図りボランティア活動の広がりを進めます。

地域・福祉・医療・学校・企業等の関係機関とボランティアニーズやボランティア情報の共有化を図ることにより、ボランティア活動の可能性を引き出すための“幅広い協力体制”をつくります。

たとえば…

- ・日常的な情報交換、情報共有の場づくり。
- ・必要に応じた課題や問題解決の協力体制づくり。
- ・ボランティア情報の発信。(情報紙、チラシの配布)

4-2 センターのサテライトを設置します。

社会資源の活用や地域の実情に応じて、市内の地区ブロック等にセンターのサテライトを開設し、“連携・協力体制”を築くことで地域に密着した事業展開を図り、ボランティア活動のつながりの輪を広げます。

たとえば…

- ・社会資源を活用したセンターサテライトの設置。
- ・センターサテライトへのボランティアコーディネーターの設置。
- ・地域のボランティアニーズ調査の実施。
- ・地域の名人調査の実施。
- ・地域密着型のボランティア需給調整システムの構築。
- ・センターサテライトとの協働事業の実施。

4-3 市外のボランティアセンターとの連携を図ります。

市外のボランティアセンターを通じて活動団体や関係機関との相乗的な“協力体制”をつくることでボランティア活動の新たなつながりの輪を広げます。

たとえば…

- ・視察、研修の相互受け入れ。
- ・広域的な事業の実施。
- ・広域的なボランティア情報の共有。
- ・広域的な連携による人材確保の効率化。